

令和 6 年度第 2 回三原市廃棄物減量等推進審議会 会議録

令和 6 年 10 月 7 日（月）14 時 30 分～
三原市役所 301・302 会議室

会議次第

諮問事項 古紙等の行政収集のあり方について（第 4 回）

- (1) 本日の目的（ゴール設定）及び今後の予定
- (2) 前回の審議の振り返り
- (3) 答申内容の決定

出席委員 11 名

伊藤 京三、岡田 俊徳、竹原 茂、内藤 久雄、中川 賢示、橋本 温、
平野 志摩、藤田 勝巳、名井 正子、安田 照美、米持 清

欠席委員 4 名

上堀 慎也、吉川 征司、小池 雄大、向井 浩司

庶 務 森坂生活環境部長、花本生活環境部次長兼環境施設課長、外 3 名

傍 聴 者 0 名

配付資料

- 資料 1_古紙等の行政収集のあり方について(第 4 回)
- 資料 2_答申（案）
- 委員名簿
- 配席表

【議事】

- 庶務 資料確認
- 諮問事項「古紙等の行政収集のあり方について」（第 4 回）審議

【質疑応答】

敬称略。（ ）内は、庶務の補足。

議題	古紙等の行政収集のあり方について（第 4 回）【資料 1】
庶務	（資料 1 1～15 ページを説明）
橋本	ここまでの説明で、何か確認しておきたいこととか、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。
全員	（意見なし。）
橋本	説明のあった前回の審議の振り返りでは、ここまで決まっているということについて、私も思い出しながら確認をしましたが、皆様は大丈夫でしょうか。 それでは、前回までの審議を踏まえまして答申案の内容のご説明をいただければ

	と思います。 よろしくお願いいたします。
庶務	(資料1 16～17 ページ、資料2 を説明)
橋本	ありがとうございます。 皆様にご審議いただく前に、本日ご欠席の吉川委員さんから事前にご意見をいただいております。私の方から説明します。 答申案の2 (2) 附帯意見「古紙類の排出が困難な高齢世帯等への対応については」のところで、高齢世帯は当然なんですけれども、それに加えて障害のある方への対応も入れるべきではないかというご意見です。文言はしっかり調整するとしまして、例えば、「障害のある方や高齢世帯等への対応については、引き続き検討する」というような一文に修正してはどうかということです。こういった配慮はしっかりとしないといけないと思いますので、これは入れるべきではないかと私は思います。障害のある方への対応も含めて、この答申案について、ご意見等いただければと思います。 いかがでしょうか。
全員	(意見なし。)
橋本	私の方から一つだけ、特にどこかに入れるという話ではないんですけれども、この答申の中で、もやすごみの中に入ってくる古紙類を回収するんだということを市民の皆様にはしっかり伝えないといけないということは気になっています。地域の集団回収を妨げるものではなく、ごみとして捨てられている古紙類を対象とするということを実際に動き出すときには伝えないといけない。答申を修正するという話ではないと思うんですが、例えば、はじめにの部分で「もやすごみの組成調査では」に下線を引いて強調することも方法の一つかと思います。 その他いかがでしょうか。 皆様にご審議いただいた中でいろいろな案が出てきて出来上がった答申案になりますので、こちらでご承認いただければと思いますが、よろしいでしょうか。
藤田	現在、容器包装プラスチックはどういうふうに処理していますか。
松浦	容器包装プラスチックはごみステーションによって収集曜日が決まっています。それをごみ収集車が不燃物処理工場に集め、容器包装プラスチックの専用ヤードに取り置きます。それを手選別した後に圧縮して、プラスチックの原材料になる物として出荷する形をとっています。 手選別の時には、汚れている容プラや容プラ以外の物を取り除く作業をしています。
藤田	ごみとして出すときに汚れている容プラはどうしたらいいんですか。
松浦	そういう物は、もやすごみになります。
藤田	もやすごみになるんですね。 汚れていない容プラは埋めるわけではなく資源ごみにするんですね。
松浦	きれいな容プラは全て何かの原材料になります。
藤田	私も今、いろいろ勉強をしているんですが、プラスチックの中に有機フッ素が含

	まれていると思うが、その問題はどのようなふうに対応していますか。(※)
松浦	容プラの出荷にあたり有機フッ素化合物が含まれる物を出荷してはいけないという規制がないため、そのまま出荷しています。
藤田	規制がないですね。 例えば、お菓子でも全部、長持ちさせるために有機フッ素が入っていると思います。そういう物を再資源化することについて、どう考えられていますか。
松浦	今の時点では出荷に対して制限がかけられているものではないため、そのまま出荷をするだけとなります。
藤田	なぜこのことを取り上げるのかですが、南方の日名内にある産業廃棄物処分場で、有機フッ素が埋められています。それが川へ流入している可能性があり、この問題を掘り下げています。ご存じのように産業廃棄物処分場から鉛が出たり、泡水が出たりしています。この審議会では直接関係ない話になりますが、容プラを再資源化する際に、有害フッ素がどのようなふう処理されているのか、ちょっと懸念するところがあります。
松浦	今の時点ではそういうものの処理というのは、多分ないと思います。
橋本	私の方からフォローさせていただいてもよろしいですか。 有害フッ素とは PFOS(ピーフォス)、PFOA(ピーフォア)と呼ばれている物を指していると思います。本審議会で扱う範囲は家庭から出る一般廃棄物であり、容器包装リサイクル法に基づいて収集している容プラに関しては、三原市では圧縮してプラスチックの原料として出荷していますので、そのサイクルの中で PFOS、PFOA が外に出ることはないと思います。いわゆる最終処分という形で埋め立てられていません。 PFOS、PFOA についてはまだ科学的に分からない部分がたくさんありますが、これらはプラスチック自体から流出するというよりも、別のところから環境中へ流出することが問題として取り上げられています。
藤田	懸念するのは、容プラを再利用したときに有害フッ素が出ることです。
橋本	三原市で容プラは、サーマルリサイクル（廃棄物から熱エネルギーを回収すること）ですか、マテリアルリサイクル（廃棄物等を原材料として再利用すること）ですか。
松浦	マテリアルリサイクルです。
内藤	今日の会議の議題は、審議会として答申内容を決定することなので、一旦その方針を出した後で、今の議論をしてもらった方がいいと思うんですが。その辺を整理していただきたい。
橋本	確かにそうですね。 この後でもう一度ちょっとだけ、時間をとらせていただくとして、まず、この答申案に関して、ここまでのところよろしいですか。
全員	(意見なし。)
橋本	事務局から提案された答申案を審議会の答申とさせていただくことにしたいと思います。

	よろしいでしょうか。
全員	異議なし。
橋本	答申は2(2)に「障害のある方」を追加する以外に修正はありませんので、この形で良いと思います。 先ほどのお話ですが、三原市の一般廃棄物の方からPFOS、PFOAが外に出るとか、埋め立てるということにはなっておらず、大きな問題にはならないと思います。 よろしいでしょうか。
森坂	産業廃棄物の件で、懸念をされているというご意見だったというふうに思います。よく勉強をされている中で、貴重なご意見をありがとうございます。 ただ、廃掃法においては、一般廃棄物は市・町が責任を持って処理するものですが、産業廃棄物については広島県の方が所管するもので、市・町と県の役割分担がされているところです。今日、ご審議いただいている部分については、家庭から出る一般廃棄物に関することですので、今回の答申においては懸念されているような事態は生じないというふうに考えております。懸念されていることについては、将来いろんな形で国の方からも考え方が示されることは十分に考えられますので、そういったものもしっかり注意しながら、今後の廃棄物行政の適正な執行に努めていきたいと考えております。 よろしくお願い致します。
橋本	ありがとうございます。 その他全体を通して何かお聞きしておきたいことがございますでしょうか。
全員	(意見なし。)
橋本	それでは、今回の答申はこれでいくという形で、本日の審議は全て終了にさせていただきます。 委員の皆様におかれましては、様々なご意見ありがとうございました。 これをもちまして令和6年度第2回廃棄物減量等推進審議会を閉会させていただきます。

以上

※有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称してPFASと呼び、1万種類以上の物質があるとされている。PFASの中でも、PFOS、PFOAは幅広い用途で使用されてきた。具体的には、PFOSについては、半導体用反射防止剤・レジスト、金属メッキ処理剤、泡消火薬剤などに、PFOAについては、フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤などに主に使われてきた。PFOS、PFOAは人の健康や動植物の生息・生育に影響を及ぼす可能性が指摘されている。現在、日本では、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に基づき、PFOSは2010年から、PFOAは2021年から製造・輸入等を原則禁止している。

参考：環境省 PFASに対する総合戦略検討専門家会議「PFOS、PFOAに関するQ&A集 2024年8月時点」（2024年8月）

<https://www.env.go.jp/content/000242834.pdf>